

2019年度（第14回）島根県高文連自然科学部門 実験観察研修会

に参加してきました！

令和元年6月7日(金)～8日(土)、国立三瓶青少年交流の家で開催されました。島根県内12の高校から、自然科学系部活動の生徒76名、教員18名の計94名が集まり、本校からは2年生1名が参加しました。

初日は、3時間半くらいかけて新聞紙ドームとエアポールロケットを作成しました。夕食後、作成した新聞紙ドームをうちわで扇いで膨らませました(右の写真)。写真のように、団扇で扇ぐだけで大きく膨らみ、びっくりしました。エアポールロケットは細長いビニール袋のようなもので、それを息で膨らませ、尾翼をつけて作りました。それを的に向かって投げて飛ばし、得点を競いました(二番目の写真)。尾翼をつけないとまっすぐ遠くまで飛ばないので、尾翼の重要性を改めて認識しました。今研究しているペットボトルロケットにも通じると思います。夜はそのまま三瓶青少年交流の家で宿泊しました。

二日目は南九州大学の秋山繁治教授(前ノートルダム清心学園 清心中学校・清心女子高等学校 SSH 主任)の講演会を聴きました(一番下の写真)。講演会では、主に先生の高校教諭時代に行われた研究の紹介をされ、その研究手法も教えていただき、非常に勉強になりました。

本校からは1名の参加でしたが、実験観察研修会では益田高校の1,2年生3名と同じ班になり、4名で協力し合って作業ができました。また、宿泊では松江北高校の2名、安来高校の1名と同部屋になり、仲良くなれたようです。

同じ自然科学系の部活動で活動している生徒達との1泊2日の研修を通して、非常にいい刺激を受けました。7月13日(土)の「高大連携 課題研究発表会」、11月15日(金)・16日(土)の「島根県高文連自然科学部門 研究発表会」に向けてモチベーションがさらに高まったように感じました。

